

## 道産食品輸出額

### ●指標の説明

【対応する政策】

- 大項目(分野) 2 経済・産業
- 中項目(政策の柱) (5) 海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展
- 小項目(政策の方向性) ■アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大

【何を測る指標か】

道産食品の海外取引の規模を測る指標

【定義・算出式】

〈道内港分〉

道内港(港湾、空港)で通関し、直接海外へ輸出された道産食品の輸出額  
函館税関が毎年公表する貿易統計のうち、人の食用に供するもの(水産物、農畜産物、加工食品、飲料等)を集計し、道産食品の輸出額としている。

〈道外港分〉

道外港(港湾、空港)で通関し、海外へ輸出された道産食品の輸出額  
生産者団体、商社、企業等へのヒアリング調査や各種統計資料等を参考に、人の食用に供するもの(水産物、農畜産物、加工食品、飲料等)を推計し、道産食品の輸出額としている。

【出典】

財務省函館税関「貿易統計」、農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、「北海道水産現勢」などを参考に北海道で独自集計。

道内港からの輸出実績額については、前年実績を毎年4月頃公表。

道外港からの輸出推計値については、前々年実績を毎年4月頃公表。

### ●指標の達成状況

【①基準値】 ※「基準値」は北海道総合計画策定時点での最新の統計数値  
平成26年(2014年) 663億円

【②目標値】

目標年: 令和7年(2025年) 目標値: 1,500億円以上

〈目標値設定の考え方〉

平成30年12月に策定した北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>において、各種計画やこれまでの輸出実績を参考にした輸出货量・輸出額の伸びなどを考慮し、令和5年(2023年)までに道内港と道外港を合わせた道産食品の輸出額1,500億円の目標値を設定している。

令和6年(2024年)以降は、1,500億円以上の輸出額を目指す。

【③実績値】 ※「実績値」は令和4年(2022年)7月1日時点での最新の統計数値

令和2年(2020年) 道内港(実績)578億円、道外港(推計)349億円 合計927億円

〈達成度合の分析〉

令和2年度の道産食品輸出額は927億円(前年比11.1%減)となった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食需要の減少に伴い、輸出単価が低下し、主要輸出先である中国への輸出額が減少したことが挙げられる。

### ●データ

#### 道産食品輸出額の推移(道内港分)

(単位: 億円)

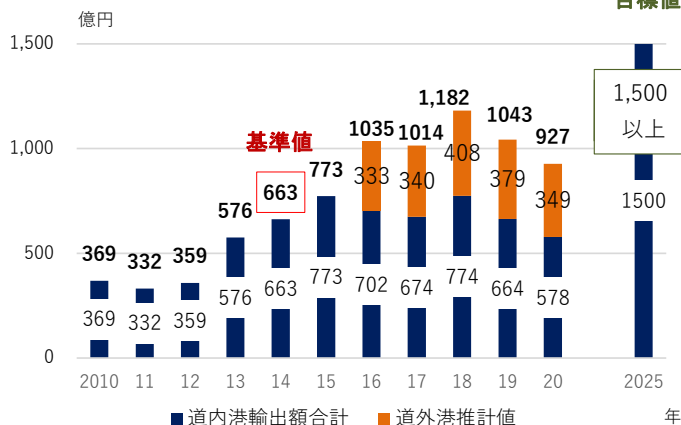
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
食品輸出額	369	332	359	576	663	773	702	674	774	664	578

※確定値

基準値

目標値

実績値



※道外港からの道産食品輸出輸出額については、平成28年(2016年)分から推計値として調査・公表している。

## 輸出額

### ●指標の説明

【対応する政策】

- 大項目(分野) 2 経済・産業
- 中項目(政策の柱) (5) 海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展
- 小項目(政策の方向性) ■海外展開によるビジネス創出と海外からの投資の促進

【何を測る指標か】

生産・加工・流通における海外取引の規模を測る指標

【定義・算出式】

本道から函館税関を通じ、直接海外へ輸出された通関額

【出典】

函館税関「北海道貿易概況」、毎年調査、翌年11月頃公表

### ●指標の達成状況

【①基準値】 ※「基準値」は北海道総合計画策定時点での最新の統計数値  
平成26年(2014年) 4,787億円

【②目標値】

目標年: 令和7年(2025年) 目標値: 7,250億円

<目標値設定の考え方>

地域の海外展開力や企業の海外競争力の強化等により、地方創生総合戦略の目標値である5,000億円(平成28年(2016年))について、毎年約5%(250億円)増加させることをめざし、目標値を設定

【③実績値】 ※「実績値」は令和4年(2022年)7月1日時点での最新の統計数値  
令和2年(2020年) 2,295円

<達成度合の分析>

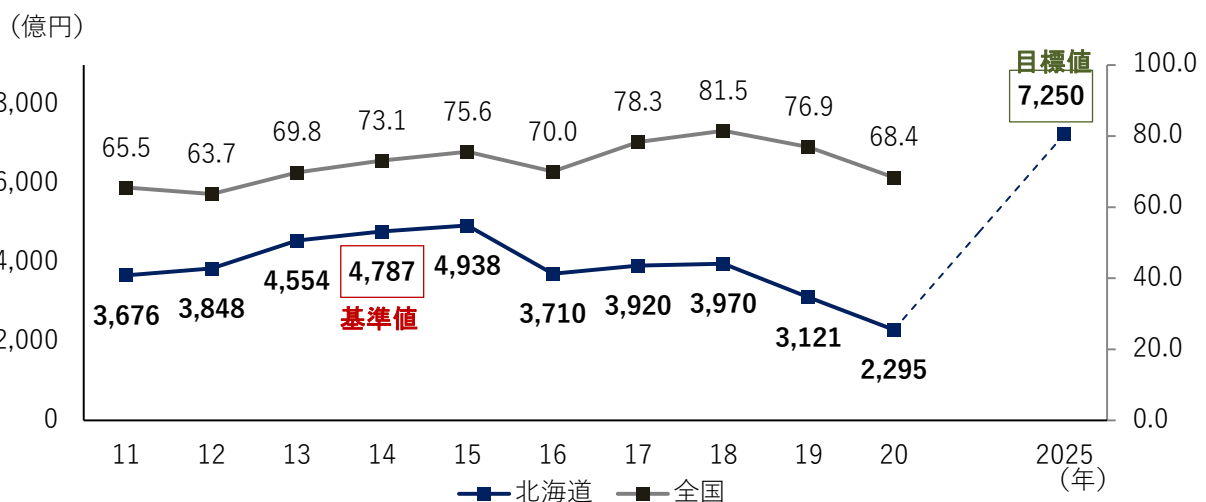
ホタテガイの輸出単価下落の影響により輸出額が減少したほか、再輸出品・自動車の部分品などが減少。

### ●データ

(単位: (北海道)億円、(全国)兆円)

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
北海道	3,676	3,848	4,554	4,787	4,938	3,710	3,920	3,970	3,121	2,295
全国	65.5	63.7	69.8	73.1	75.6	70.0	78.3	81.5	76.9	68.4

基準値 実績値



観光消費額

●指標の説明

【対応する政策】

- 大項目(分野) 2 経済・産業
- 中項目(政策の柱) (6) 道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現
- 小項目(政策の方向性) ■「観光立国北海道」の再構築

【何を測る指標か】

旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標

【定義・算出式】

道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり)

【出典】

北海道観光産業経済効果調査委員会「北海道観光産業経済効果調査」、概ね5年ごとに調査  
北海道観光振興機構「北海道来訪者満足度調査報告書」

●指標の達成状況

【①現状値】※「現状値」は北海道総合計画策定時点での最新の統計数値

平成22年	道内容1人当たり	13,271円
(2010年)	道外客1人当たり	69,670円
	外国人1人当たり	122,128円

【②目標値】

目標年:	目標値:	
令和7年	道内容1人当たり	15,000円
(2025年)	道外客1人当たり	79,000円
	外国人1人当たり	—円

<目標値設定の考え方>

道内各地の取組と一体となった多彩なツーリズムを展開し、滞在消費の拡大につなげる観点から、国内客については内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」(平成27年7月)の実質成長率による増加をめざし設定。外国人観光客については新型コロナウイルス感染症の影響により当面設定が困難であることから、目標値を設定することができる状況になり次第、設定する。

【③実績値】※「実績値」は令和4年(2022年)7月1日時点での最新の統計数値

令和2年	道内容1人当たり	9,439円
(2020年)	道外客1人当たり	67,733円
	外国人1人当たり	—円

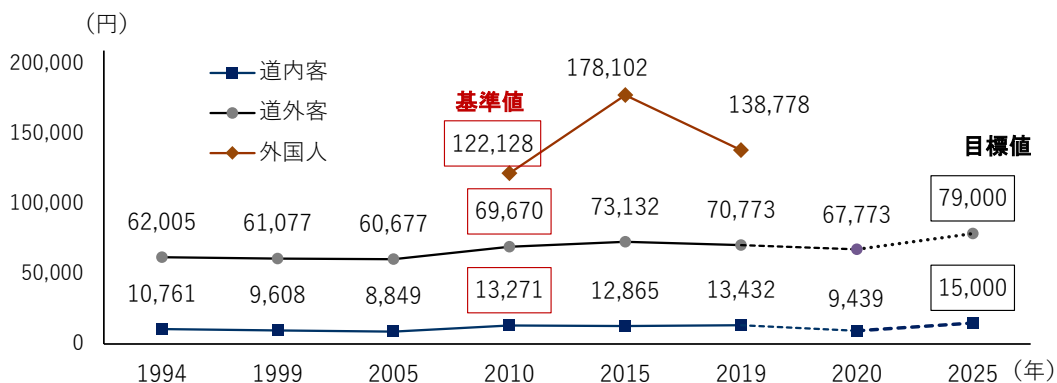
<達成度合の分析>

「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により、道内においても緊急事態措置等が講じられ、不要不急の帰省や旅行、他都府県への往来自粛が要請されるなどにより、旅行需要が減少したため指標が低調となった。

●データ

年	1994	1999	2005	2010	2015	2019	2020
道内容	10,761	9,608	8,849	13,271	12,865	13,432	9,439
道外客	62,005	61,077	60,677	69,670	73,132	70,773	67,733
外国人				122,128	178,102	138,778	—

基準値 実績値



## 国際会議等の開催状況

### ●指標の説明

【対応する政策】

- 大項目(分野) 2 経済・産業
- 中項目(政策の柱) (6) 道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現
- 小項目(政策の方向性) ■「観光立国北海道」の再構築

【何を測る指標か】

道内で開催された国際会議など、MICE誘致・開催の推進状況を測る指標

【定義・算出式】

道内で開催された国際会議の開催件数です。日本政府観光局(JNTO)が関係府省庁、自治体、コンベンション推進機関等の協力を得て、次の基準により集計したもの  
 ・主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」(各々の定義が明確ではないため、「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象)  
 ・参加者総数:50名以上  
 ・参加国数:日本を含む3居住国・地域以上  
 ・開催期間:1日以上

【出典】

日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」、毎年調査、概ね11月公表

### ●指標の達成状況

【①基準値】※「基準値」は北海道総合計画策定時点での最新の統計数値  
平成26年(2014年) 107件

【②目標値】

目標年:令和7年(2025年) 目標値:140件

<目標値設定の考え方>

札幌市の目標は「札幌MICE総合戦略」において令和2年(2020年)で120件となっているが、地域の関係者と連携し官民一体となった戦略的なMICE誘致・開催を推進することにより、札幌市以外での開催を平成20年(2008年)～平成26年(2014年)平均(8.7件)の2倍程度に増加させることをめざし、目標値を設定

【③実績値】※「実績値」は令和4年(2022年)7月1日時点での最新の統計数値

令和2年(2020年) 3件

<達成度合の分析>

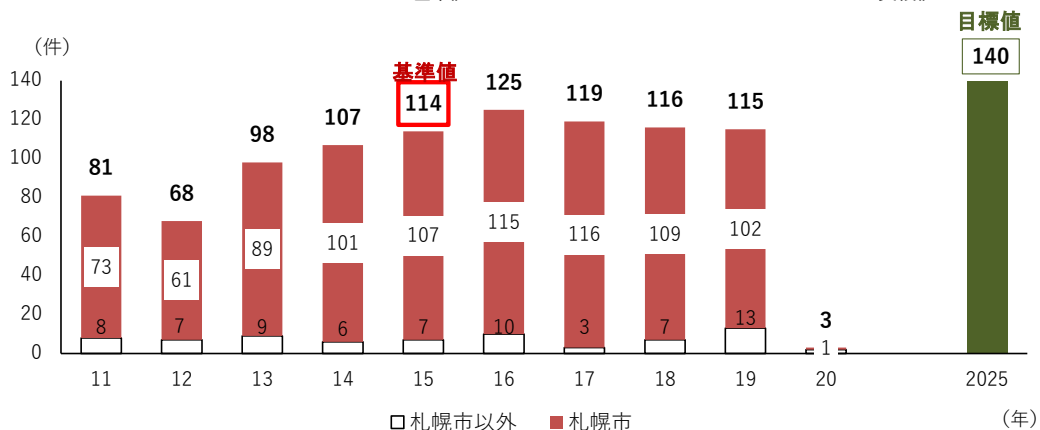
令和2年は、北海道MICE誘致推進協議会との情報共有や、国主催の省庁連絡会議における本道への会議誘致のPRなど、に国際会議等の誘致に係る取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大による影響で、海外との往来が制限されたことにより、国際会議の開催件数は令和元年から激減した。

### ●データ

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
北海道内合計	81	68	98	107	114	125	119	116	115	3
札幌市	73	61	89	101	107	115	116	109	102	2
札幌市以外	8	7	9	6	7	10	3	7	13	1

(単位:件)

基準値 実績値



### 観光入込客数

#### ●指標の説明

【対応する政策】

- 大項目(分野) 2 経済・産業
- 中項目(政策の柱) (6) 道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現
- 小項目(政策の方向性) ■「観光立国北海道」の再構築

【何を測る指標か】

国内外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動による成果を測る指標

【定義・算出式】

道外から本道を訪れた観光客(道内容、道外客及び外国人)の実人数

【出典】

北海道経済部「北海道観光入込客数調査」、毎年調査、概ね9月公表

#### ●指標の達成状況

【①基準値】 ※R2年度の数値が新型コロナウイルス感染症の影響により大きく変動したことから、R1年度の数値で設定している。

令和元年度(2019年度) 道内容4,441万人 道外客592万人 外国人244万人

【②目標値】

目標年: 令和7年度(2025年度) 目標値: 道内容4,880万人 道外客700万人 外国人 一万人

<目標値設定の考え方>

新型コロナウイルス感染症の影響により、道内の観光需要、特にインバウンド需要は大きく減少しており、北海道観光のくまびかり行動計画(令和3年度～7年度)では、災害や感染症、国際情勢などによる影響の縮小化に向けて、観光入込客数の目標値を設定しており、これを踏まえて総合計画では、道内からの観光客数4,880万人、道外からの観光客数700万人を目指すこととし、目標値として設定している。

なお、外国人観光客の目標値については、新型コロナウイルス感染症の影響により当面設定が困難であることから、目標値を設定することができる状況となり次第、設定する。

【③実績値】 ※「実績値」は令和4年(2022年)7月1日時点での最新の統計数値

令和2年度(2020年度) 道内容3,123万人 道外客215万人 外国人0万人

<達成度合の分析>

「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により、道内においても緊急事態措置等が講じられ、不要不急の帰省や旅行、他都府県への往来自粛が要請されるなどにより、旅行需要が減少したため指標が低調となった。

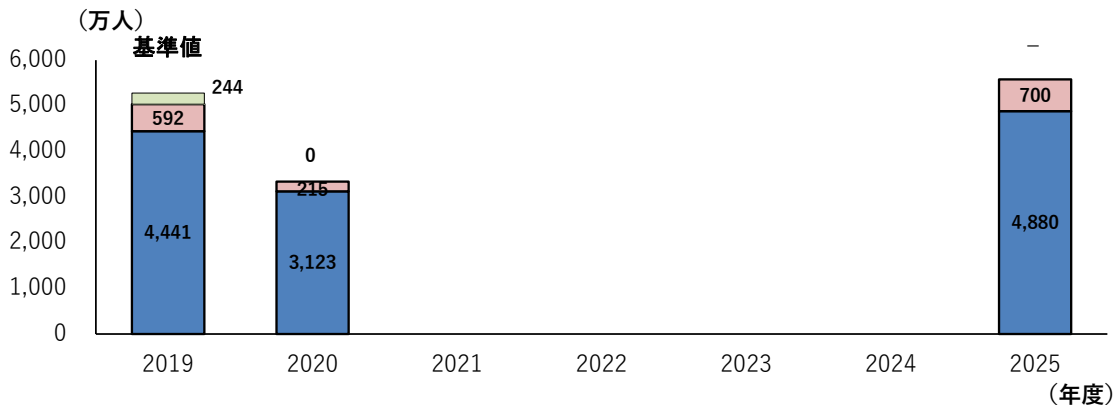
#### ●データ

(単位: 万人)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
道内容	4,441	3,123					4,880
道外客	592	215					700
外国人	244	0					-

基準値

目標値



## 就業率

### ●指標の説明

#### 【対応する政策】

- 大項目(分野) 2 経済・産業
- 中項目(政策の柱) (7) 良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成・確保
- 小項目(政策の方向性) ■雇用の受け皿づくりと産業人材の育成・確保

#### 【何を測る指標か】

北海道全体の雇用・就業実態を測る指標

#### 【定義・算出式】

15歳以上の人口のうち、仕事に就いている人の割合をいう。  
(算出式) 就業率 = 就業者人口 / 15歳以上の人口 × 100  
・15歳以上の人口は、調査月末現在の満年齢

#### 【出典】

総務省「労働力調査」、毎年調査、1月公表

### ●指標の達成状況

【①基準値】 ※「基準値」は北海道総合計画策定時点での最新の統計数値  
平成26年(2014年) 53.1%

#### 【②目標値】

目標年: 令和7年(2025年) 目標値: 各年において前年よりも上昇

#### <目標値設定の考え方>

本道の就業構造は全国に比べ人口減少が加速しており、女性や高齢者など多様な働き方による労働参加の実現の重要性が増していることから、毎年度の達成状況を評価することにより、適時適切な施策を展開し、労働市場への参加者を確実に就業に繋げるため、就業率が各年において前年よりも上昇することを目標とする。

【③実績値】 ※「実績値」は令和4年(2022年)7月1日時点での最新の統計数値

令和3年(2021年) 56.1% (前年の実績値56.2%)

#### <達成度合の分析>

道内経済が感染症の長期化により、大きな影響を受ける中、道内では失業者が減少していない一方、15歳以上人口及び就業者数が減少したことなどから就業率が前年よりも低下し、目標の達成が出来なかった。

### ●データ

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
北海道	53.3	53.0	53.0	53.1	53.6	54.0	54.4	55.9	56.7	56.2	56.1
				基準値							実績値

